



あなたを待っています

日本基督教団 萩教会 牧師 **新保 恵子**
Shinbo Keiko

「わたしはあなたを選び、決して見捨てない」イザヤ書四十一章九節の御言葉を「召命」と信じ、萩教会へ遣わされて十年目になります。主の恵みによってこれまで与えられました「牧師に召された喜び」を振り返りますと、まず東京神学大学に入学を許された事が挙げられます。

に仕えるように導かれました。教会へ着くと「牧師が来られた」という安心と喜びの表情を浮かべて待っていてくださいます。教会員の皆様にとって、礼拝と牧師の存在がいかに重要であるかが伝わってきました。

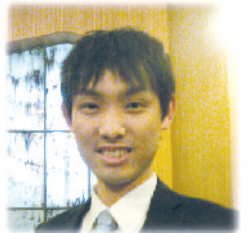
先生方の真剣に取り組んでおられる講義、夏期伝道実習など備えられていたカリキュラムにより、信仰と知識が養われました。先生方と職員の皆様からの暖かな祈りと励まし、お支えに包まれるようになって大切に育てて頂きました。現在も学んだ事や支えて頂いた経験が、伝道教会の指針と力になっています。卒業後も積極的に学びの会を設け、近隣の同窓生を中心に集まっています。学生生活が充実し、楽しかった思い出を皆、心に持っているからだと思います。

また津和野教会は二九八〇年から無牧となり、三十五年間「牧者を与えてください」と祈りを重ねてきました。現任陪餐会員三名の小さな群れです。さらに教会建物が著しく老朽化していました。様々な困難が予想されます。「こんな小さな群れに來てくださる方がおられるだろうか」との声が聞かれた事もありました。しかし「教会在住の牧者をお迎えする最後の機会かもしれない」との一致へ導かれ、牧師館を併設した新会堂建築へ導かれています。伝道教会の中核となる牧師をお招きする事が、教会の希望となっています。

牧師に召される事は、自分自身の思いを遥かに超える「主の御業」に用いられる喜びがあります。萩教会へ遣わされて五年が経った時でした。無牧の二つの教会から代務の依頼がありました。私は鳥根県の津和野教会（二〇二年四月～二〇三年三月）会（二〇二年四月～二〇三年三月）の代務者となり、二人で三つの教会

教会で与えられる出会いには、かけがえない喜びです。主日礼拝をはじめ、様々な機会に牧師を覚えて、力強い祈りが捧げられています。教会員の皆様に祈られ、支えて頂きながら、イエス様の十字架と復活の福音をお伝えするように召されている事は、大きな喜びです。

「決して見捨てない」とイエス様があなたを待っています。



主のなされることが届く

大学院博士課程前期課程二年 **家次 恵太郎**
Ichiya Keitaro

主は、皆さんが救われたその出来事を、もう一度、何度でも、この世界に引き起こさないとわげがありません。そして主は、皆さんがきつとそれぞれの「あの日」に見た、伝道者の道から語っている人へと、今度はあなたを呼んでおられます。それはずっと前から用意されていた計画です。

していただき、始めました。その中でキャッチボールをするように、自分が召されているかもしれない「牧師」という人の聖書の読み方や信仰を聞きました。そして、自分は伝道者の道に召された人を通して語るイエス様に伝道されたことを思い起こしていました。

私が召命を与えられたきっかけは、大学卒業年度の二〇二二年別の神学校での公開講座のことでした。旧約聖書の授業で、出エジプト記三章三、四節の「道をそれて」と言う言葉は、「単に山の道をそれた」という意味だけでなく、確かに神様の道へとそれた、という見方ができます」と聞きました。その時、御言葉が突き刺さりました。自分にはそれた先の道があり、その道を知っているのではないかという感覚でした。また、その道というのとはただ漠然としているのではなく、今まで見て来た牧師の道にのみ一致して感じられました。

東京神学大学への入学を決めても、学費の面で不安がありました。しかし、主はこの事を、これでもかという召命のメッセージとしてくださった。私の叔母がこの時の三年前に自死しているのですが、その時「何か大切なことのために使ってください」と遺してくださったお金があり、それが東神大の四年間の学費とほぼ同額でした。家族にとって何の救いもないような悲しい出来事をも、神

様は御手の中で取扱い、このように共に生きさせてくださることを信じました。もうこちらの決心を超えている。何の迷いもなくなりませんでした。

召命で、それまでの人生と今回の出来事の意味も、二つに繋がられて理解できました。私は小学校4年生から病気をきっかけに学校に通えていない時期が長くありました。高校生の時、教会に毎週通い始め、清弘牧師と出合い、信仰に導かれました。病気の前に少しかCSに通っていた時は聞く耳を持たなかったのですが、この時には打ち砕かれていたので、神様の救いの御言葉をストレートに求めました。どの局面が欠けても成り立ちません。小学校のみんなの道からそれてしまたのではなく、神様が歩ませる道があったのです。

皆さん、どうか伝道への献身の道を、祈り、イエス様に聞いてみてください。必ず応えがあります。進むために今皆さんの頭によぎる様々な壁があっても、必ず備えはあります。神様はあなたに出会い、救うために様々な壁を壊してくださいました。その時、人を遣わされたはずはです。